

日本スペリア社

1966年の創業以来、金属接合材料、特にロウ付けとハンダ付け材料が2大製品となっている。業績は好調に推移しており、前期比5%アップの目標を持つ。しかし、一方では懸念材料も見え隠れする。地政学的な問題がある上に、電子部品の供給が滞り気味なことが気がかりだ。



社長 西村 哲郎 氏

これまで確実性を重視することと信頼性を確保してきた。必要不可欠なことが、あまり時間がかけている。現在は諸

これから重要になるのは、時代に合ったモノづくりの進め方だと思ふ。新しい時代の流れの中で、事業について答えを出し、顧客の迷いを払拭できるように現場でも努力している。

「答えを出す、会社」

外国のスピードに着いて行けなくなってしまう。こうした状況に応じるべく、研究開発に多大な力を注いでいる。特に、海外でのネットワークを構築して情報を収集することで、世界に目を向けた取り組みも進めている。これらの蓄積がベースにあるからの確かな答えを出すことができ、それが強みになっている。創業50年を越え、引き続き深掘りし、さらに広げていくことが今後のかじ取りの基本になることは間違いない。時代の変化は著しく、今に安住しては取り残される。これからも常に先を見据えて取り組んでいく。

関西の進路／針路

無銀・鉛フリー高信頼はんだ

SN100CV

有銀はんだを超える
パフォーマンス

モバイル端末等の高密度表面実装から、
車載向け部品実装、そして身近にある
汎用家電の部品実装に適用可能！

無銀無鉛

